

議員議案提案説明

藤元議員 それでは、議案第47号、給付型奨学金の創設を求める意見書案について、森議員の賛同を得て提案をさせていただきます。案分を読んで提案理由に代えさせていただきます。給付型奨学金の創設等を求める意見書案、わが国には、憲法、教育基本法の理念に基づき経済的理由により就学が困難と認められる大学生等を対象として日本学生支援機構による無利子、有利子の貸与型奨学金制度があります。長引く不況、授業料の引き上げとともに利用者は年々増加を続け、昨年度の利用者は134万人であり、実に2人に1人は奨学金を借りており、いまや奨学金なしでは日本の大学（高等）教育は成り立たない状況です。しかしながら、貸与型であるがゆえに奨学金を利用した学生は卒業後その返還をしなければならず、その額は平均300万円といわれています。人生の新たな門出を大きな借金を背負ってのスタートということになり、現在の労働事情もあり、たとえ返済ができて貯蓄まで手が回らず結婚できないなど厳しい生活を余儀なくされているのが現状であり、貧困の連鎖を断ち切るどころか逆に奨学金という借金が新たな貧困を生み出しています。経済的理由により学べない、また、学んだことを活かさないという現状は、若者の未来を閉ざすとともに日本社会にとっても大きな損失です。そもそも、授業料が高いうえに先進35カ国で形成されるOECD加盟国の中では当たり前の給付型奨学金制度のないのは、学費無料のアイスランドを除くと日本だけであり、早急な改善が求められています。よって本議会は、意欲と能力のある若者が、家庭の経済状況にかかわらず安心して学業に専念できるよう、そして、学んだことを社会に還元し、社会発展に貢献できる環境を整えるためにも、現在の奨学金制度の改善とともに早急に給付型奨学金制度を創設するよう政府に対し強く要望します。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。平成28年6月15日、徳島県海部郡牟岐町議会、提出先として、内閣総理大臣、文部科学大臣、衆議院議長、参議院議長。以上、審議をよろしくお願いします。